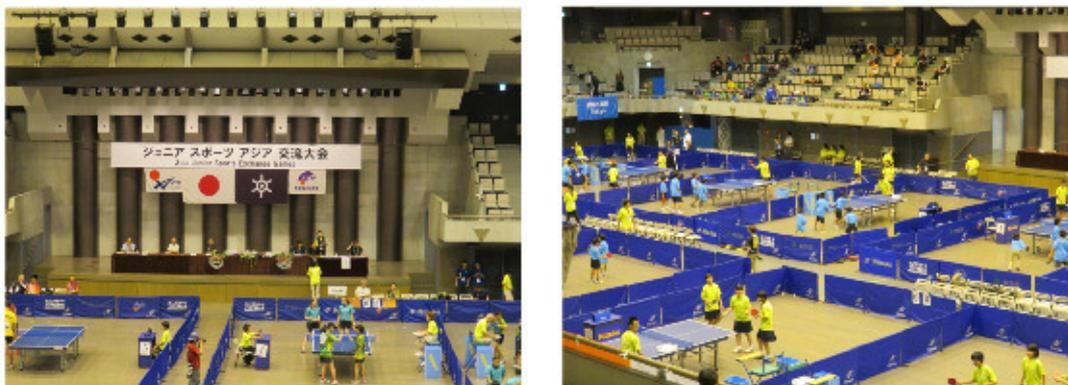


日本スポーツ界トップレベル競技観戦ツアー第3弾 ～卓球～



日本スポーツ界トップレベル競技観戦ツアー第3弾「卓球」が8月29日(土)、東京武道館(足立区綾瀬3)で行われ、小中学生他31人が参加しました。

これは、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、トップレベルのスポーツを肌で感じ、オリンピック・パラリンピックの機運を醸成していこうと行っているプログラムのひとつで、大会を観戦し、体験するもの。今回は、アジア18都市が参加した2015ジュニアスポーツアジア交流大会(卓球交流大会)の予選・順位決定戦を観戦しました。

体験教室ではシドニー・北京オリンピックの2大会で女子監督を務めた近藤欽司さんが講師となり、基本からラリーの練習などを行いました。

往復のバスの中では、品川区卓球連盟の方から卓球に関するクイズなどもあり、参加した小中学生からは、「楽しかった」「勉強になった」などの感想が寄せられました。

この日は、品川区の青少年地域貢献ボランティア「しながわ役立ち隊」からも1人がスタッフとして参加。受付や誘導などを分担しました。

区では、今後も区内開催競技を中心とした「観戦ツアー」や「ホッケーフェスタ」、障害者スポーツへの理解・認知度向上を図るため「ブラインドサッカーの出前体験教室」などを行っていきます。